

第1号議案

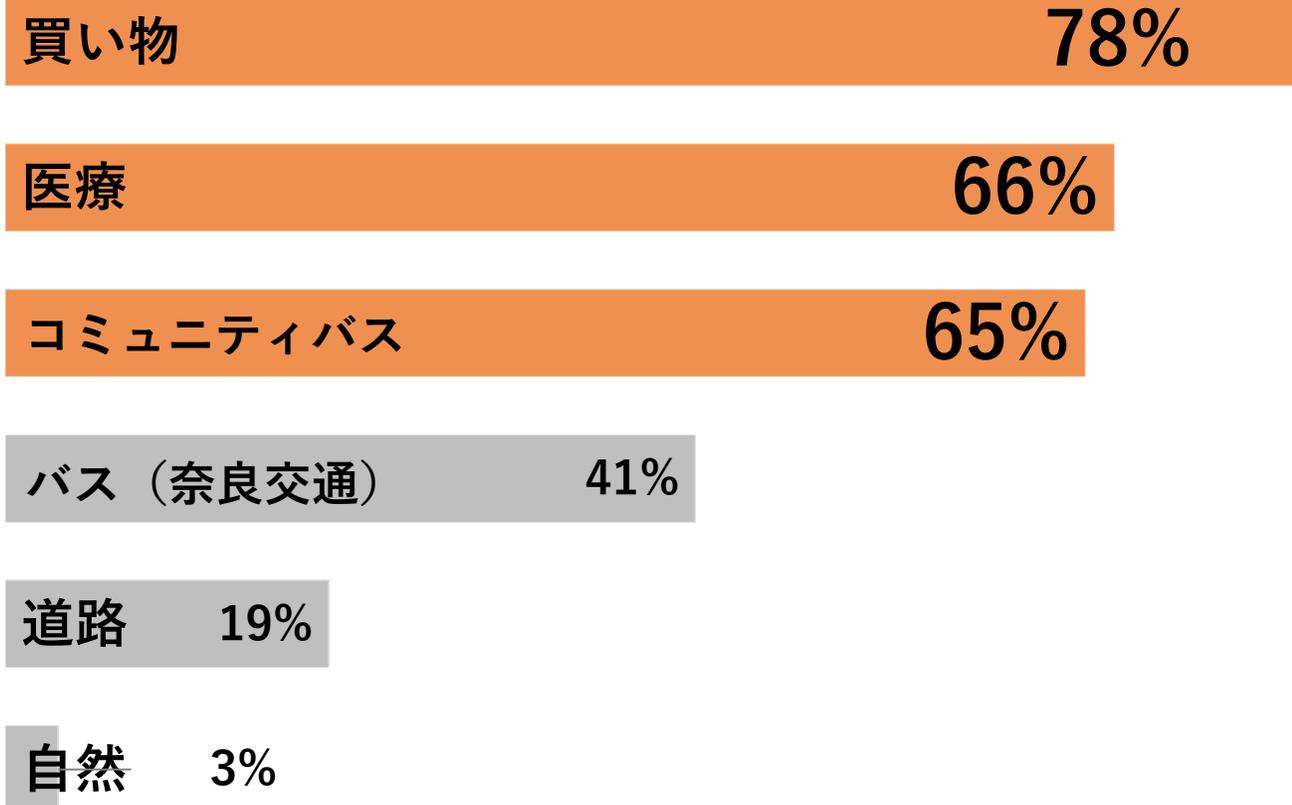
令和3年度事業実施状況

大阪府四條畷市

2022.05.12 資料

田原地域の生活環境の不満足度の割合（H29アンケート）

（日々の暮らしのアンケート結果）



最重要



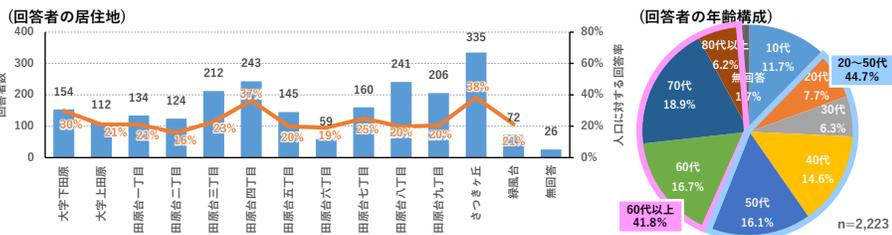
買い物、医療
交通（コミバス）

1.調査概要

- 田原地域における課題の1つである「公共交通手段の確保・維持」の解決に向け、田原地域内の移動・外出状況や移動に対するニーズ、新たな移動手段の導入等についてアンケート調査を行いました。
- 対象：田原地域在住の方（上田原、下田原、田原台、緑風台、さつきヶ丘）
- 期間：令和2年12月14日(月曜日)～令和3年1月15日(金曜日)まで
- 方法：地区役員の方による各世帯へアンケート用紙の配布。郵送または地区の役員、田原支所へ提出。

2.回答者の属性

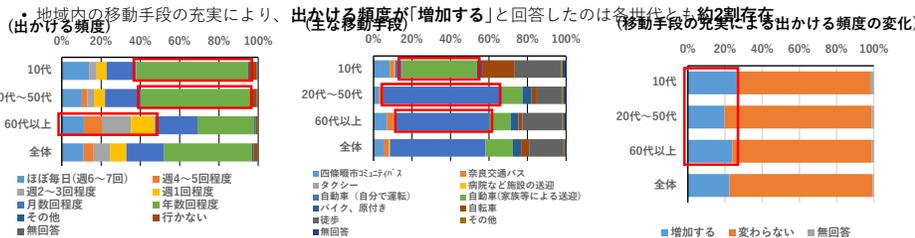
- 地域全体で920世帯、2,223名からアンケートの回答を収集。
- 居住地別では、回答者数、回答率ともにさつきヶ丘が最も多く、次いで田原台4丁目が多い。
- 年齢構成は、70代が18.9%と最も多く、次いで60代(16.7%)、50代(16.1%)の順。



3.田原地域内の主な拠点への現在の外出状況

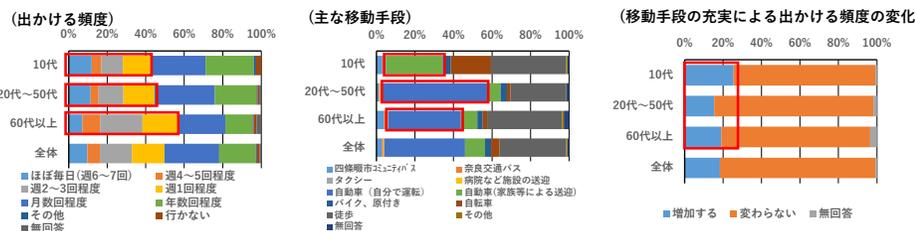
①グリーンホール田原・田原図書館 周辺

- 出かける頻度は、50代以下は約6割が「年数回程度」であるのに対し、60代以上は約5割が「週1回以上」。
- 移動手段は、10代の約4割が「家族等による送迎」、20代~50代の半数以上、60代以上の約半数が「自分で運転」。



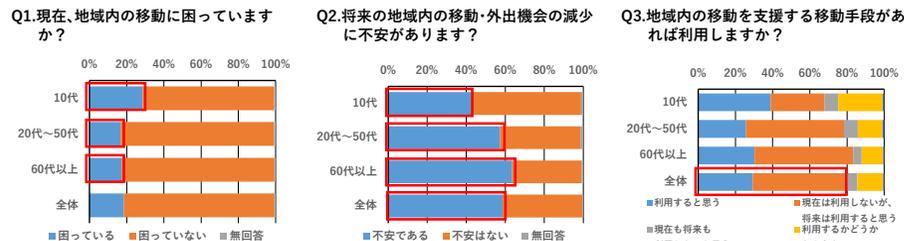
②田原台センター 周辺

- 出かける頻度は、「週1回以上」が全体で約5割、60代以上では約6割を占める。
- 移動手段は、10代の約3割が「家族等による送迎」、20代~50代の半数以上、60代以上の約4割が「自分で運転」。
- 地域内の移動手段の充実により、出かける頻度が「増加する」と回答したのは各世代とも約2割存在する。



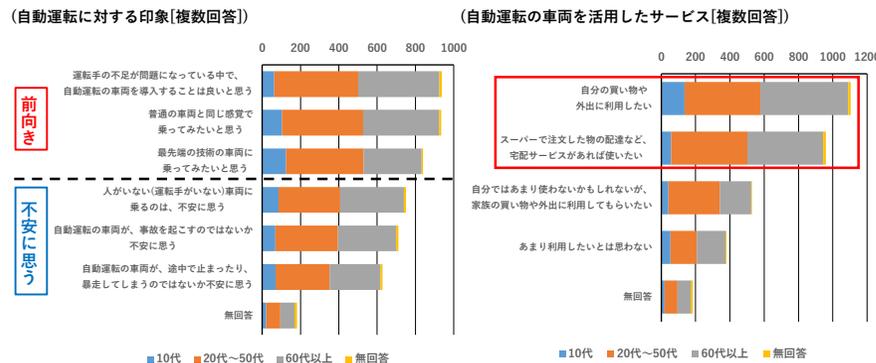
4.田原地域内の「移動」に対するニーズ

- 現状で地域内の移動に「困っている」方は、10代で約3割、20代以上で約2割存在する。
- 将来の移動・外出機会の減少については、全体の約6割が「不安である」と回答しており、世代が上がるにつれてその割合が高くなる。
- 地域内の新たな移動支援サービスに対し、全体の約8割が「利用する」または「将来は利用する」と回答。



5.新たな移動手段の導入について

- 自動運転に対する印象は、「乗ってみたい」、「運転手不足の問題に対して良いと思う」という前向きな意見が多い一方で、「不安に思う」意見も多く存在する。
- 自動運転車両を、「自分の外出に利用したい」が約5割と最も多く、次いで「宅配サービス」が約4割と多い。

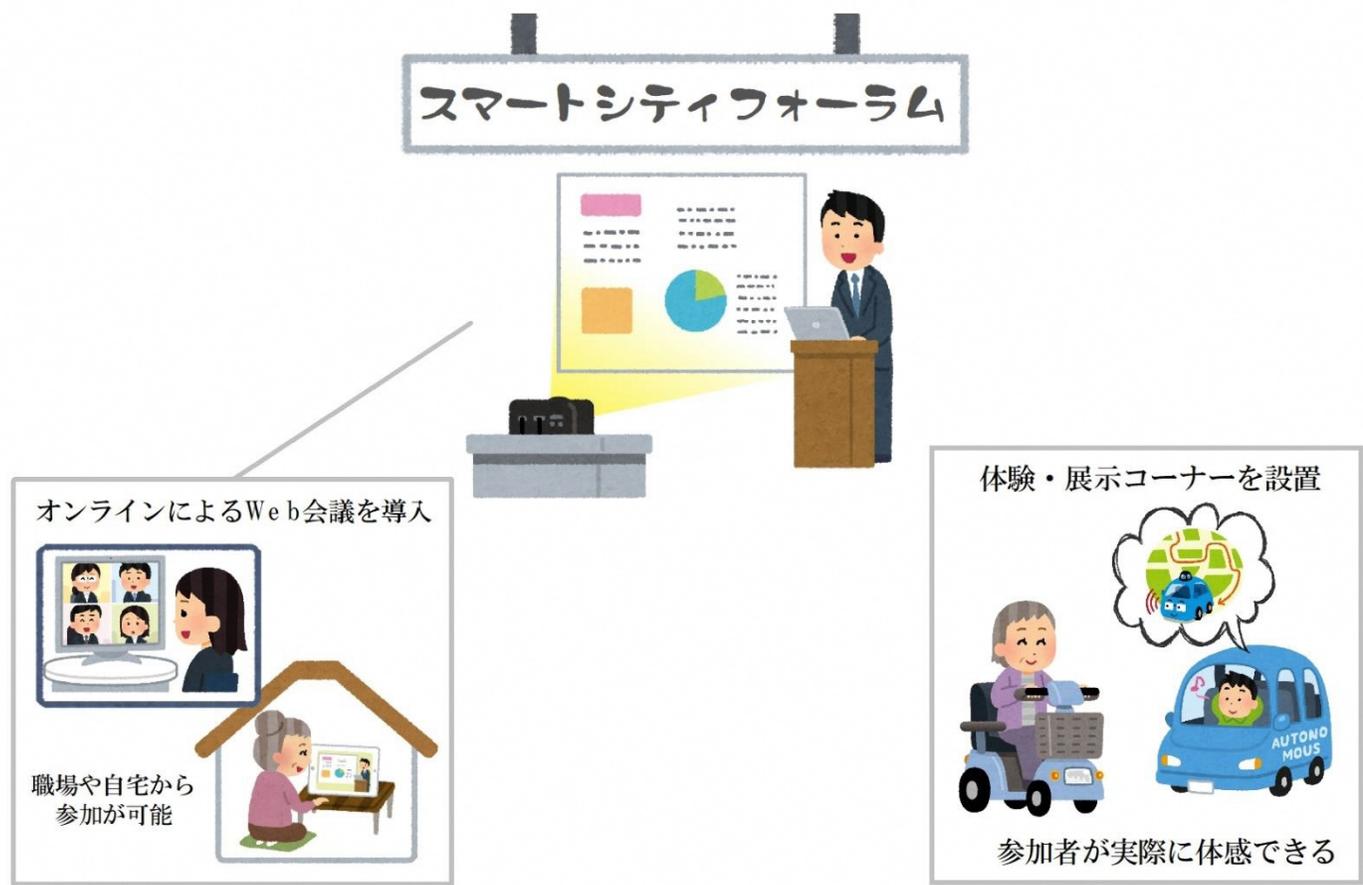


参考：他地域で実施されている実証・実装車両



(大阪府 河内長野市など) (茨城県 境町など) (滋賀県 大津市など)

<https://www.city.kawachinagano.lg.jp/soshiki/30/34688.html> <https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/page/page002440.html> <https://www.city.otsu.lg.jp/shisei/koho/dekigoto/R2/35360.html>



田原地域のスマートシティの取り組みを「日本一前向き！」コンソーシアムと一緒に楽しく判りやすくご説明します。

令和3年10月16日
田原小学校にて開催

大阪府四條畷市



「日本一前向き！」コンソーシアム
(参画団体一覧)
地域ボランティア団体
田原小学校、田原中学校
(株)アカカベ
(株)ウフル
NECソリューションイノベータ(株)
関西電力(株)
近鉄ケーブルネットワーク(株)
(株)グリーンファーム
ソフトバンク(株)
(大)奈良先端科学技術大学院大学
YuMaKe (同)
(医)和幸会



テーマ：新たなモビリティと健康
参加人数174人

校庭内自動運転：
乗車体験36人

大阪府四條畷市

令和3年度プレ走行実験のお知らせ

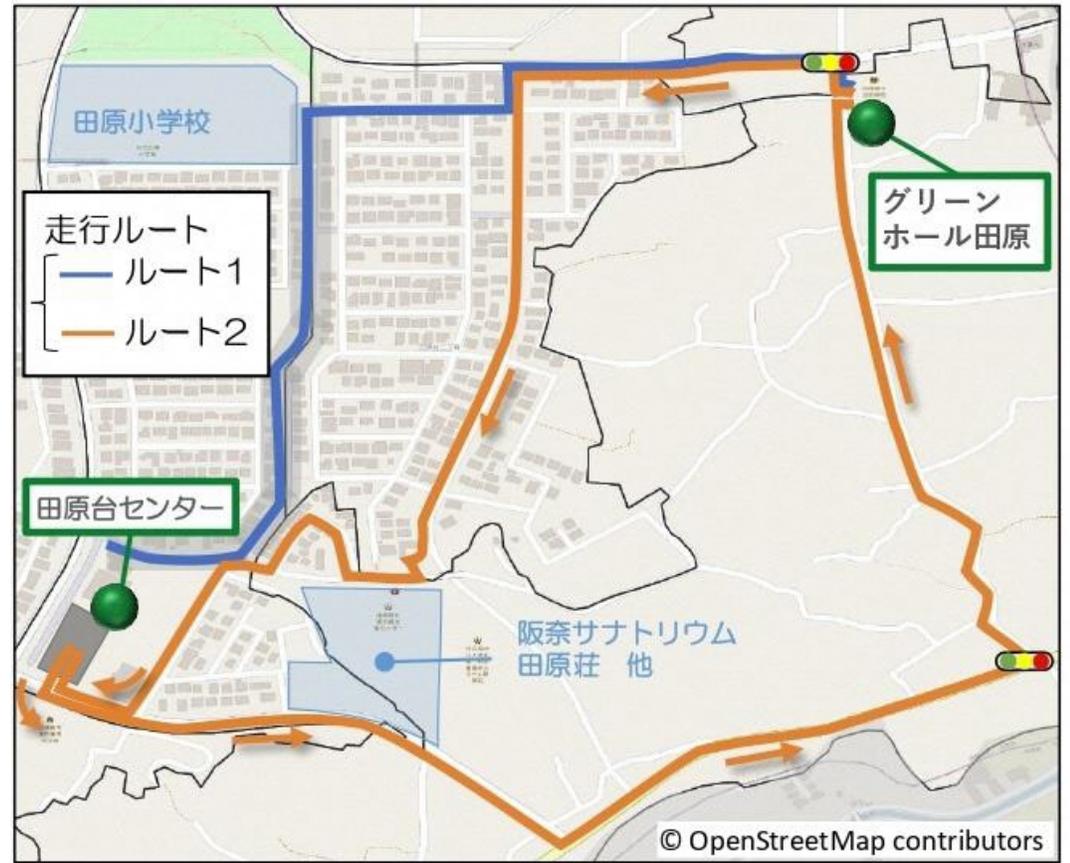
ゆっくりカート乗車体験

地域内の移動を
支える新たなモビリティ



参加無料
先着順！

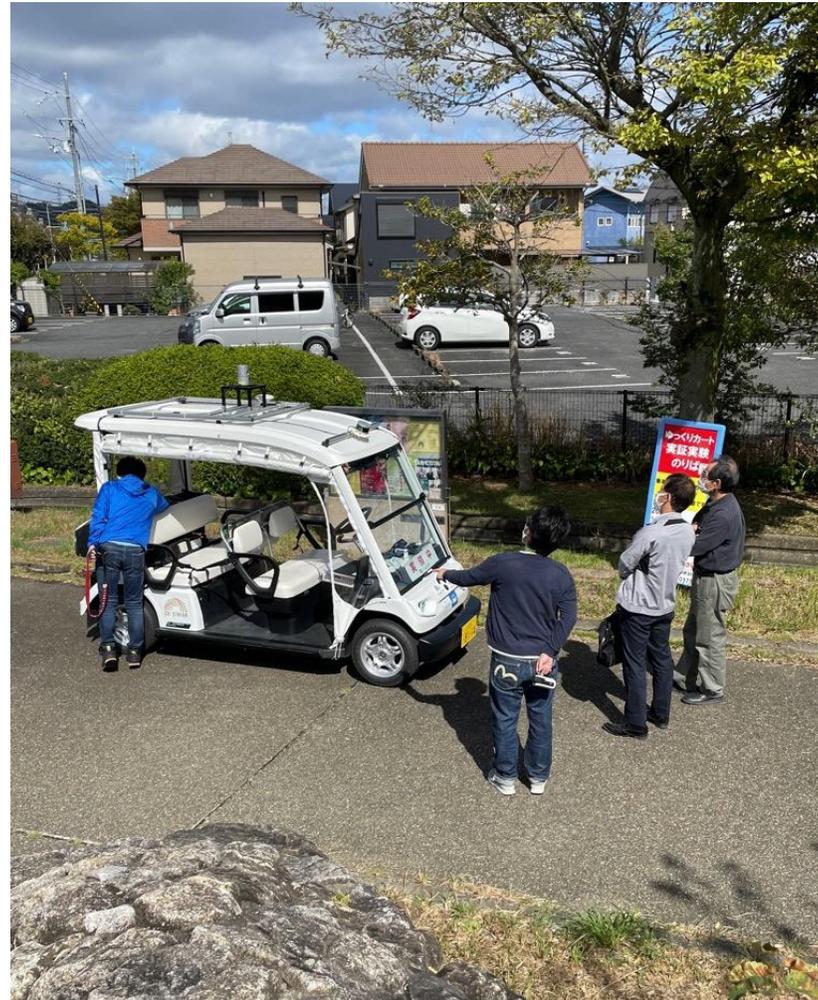
※画像はイメージ



期間：10月17日～31日、

ルート1片道約1.1km（歩行者専用道路）、ルート2 行約1.4km、帰1.4km

4-2 令和3年度ゆっくりカート乗車体験の様子



公道手動運転期間：10月17日～31日、乗車体験：158人

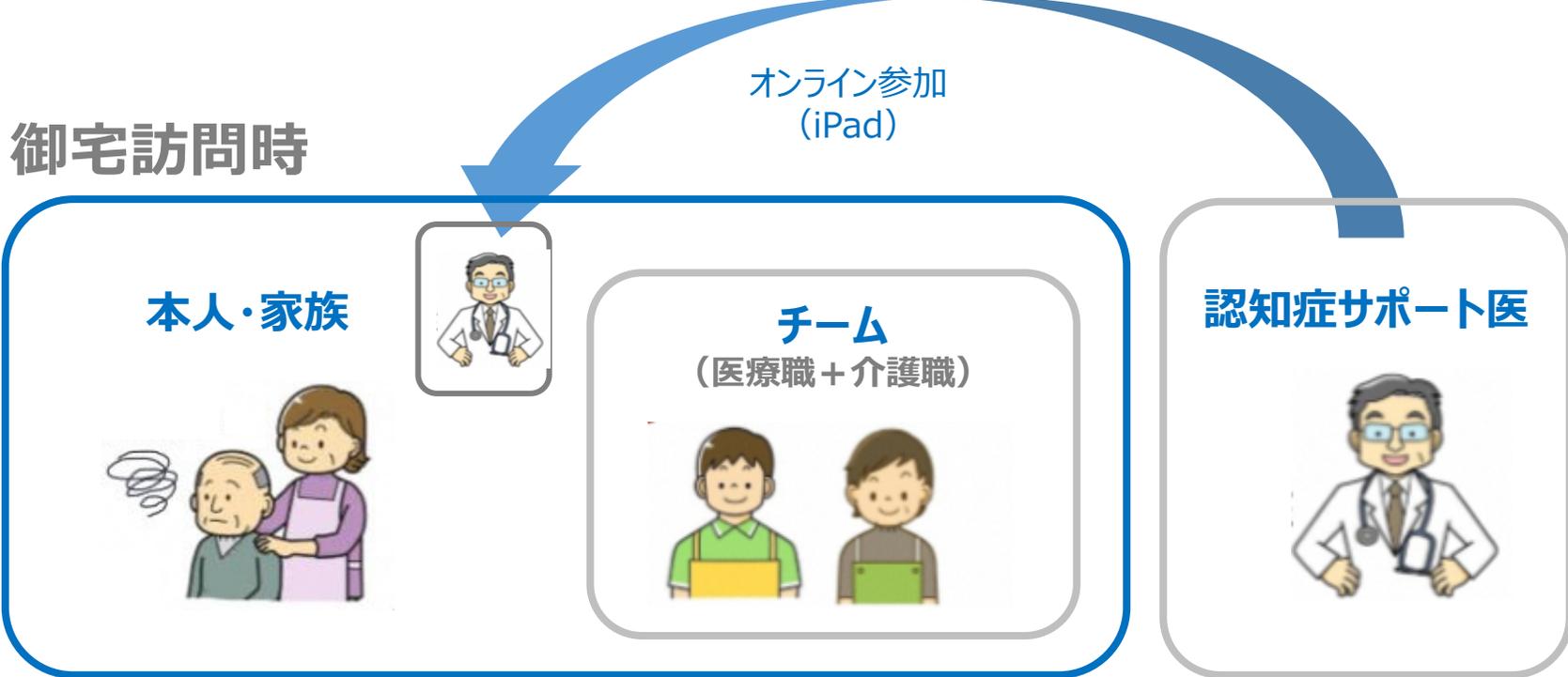
4-3 自動運転車両実装に向けたカフェミーティング



カフェミーティング：1月15日（19人参加）、3月19日（14人参加）

5 ICT機器を活用した認知症初期集中支援サポートにおける実証実験

- 「主なメリット」
- 訪問時の状況をリアルタイムで専門医が確認・サポート
 - 以降、訪問担当からの情報共有等の作業を短縮
 - 認識の齟齬や状態の伝え漏れなどを軽減



対象家族がご承諾のうえ、
チーム員が訪問時状況を
オンラインで専門医が確
認し、早期発見につなげ
る

実証実験：令和3年4月～9月

大阪府四條畷市

イメージ写真



イメージ写真



協力者：ソフトバンク(株)、医療法人 和幸会、くすのき広域連合
タブレット6台（地域包括支援センター、初期集中支援チーム）

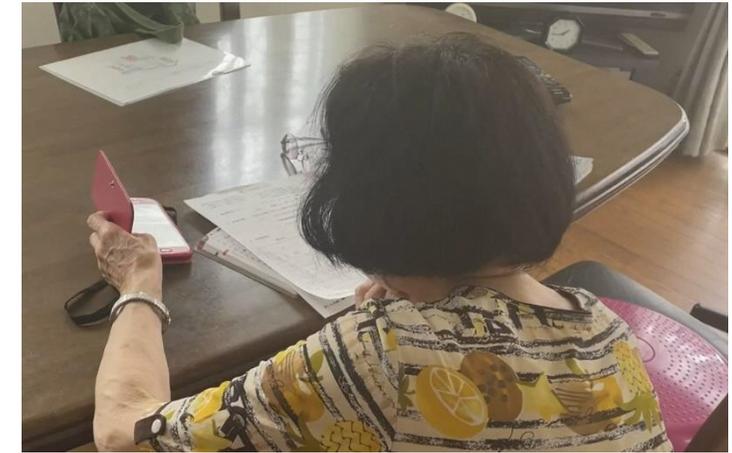
大阪府四條畷市



スマホやタブレットで自宅から店舗の商品を見ながらお買い物ができます。購入した商品はご自宅付近の集積所までお届けします。

実証実験：令和3年7月～11月

大阪府四條畷市



協力者：四條畷市社会福祉協議会、NECソリューションイノベータ(株)
奈良先端科学技術大学院大学

実証実験44回、平均単価1947円、平均重量約3.5kg、平均所要時間約52分

大阪府四條畷市



罾にイノシシが捕獲された時に、取りつけたセンサーから、対象者のスマホに通知が届きます！

- 実証実験時期：令和3年9月～

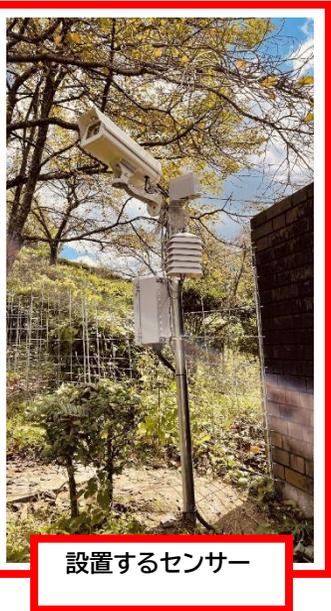
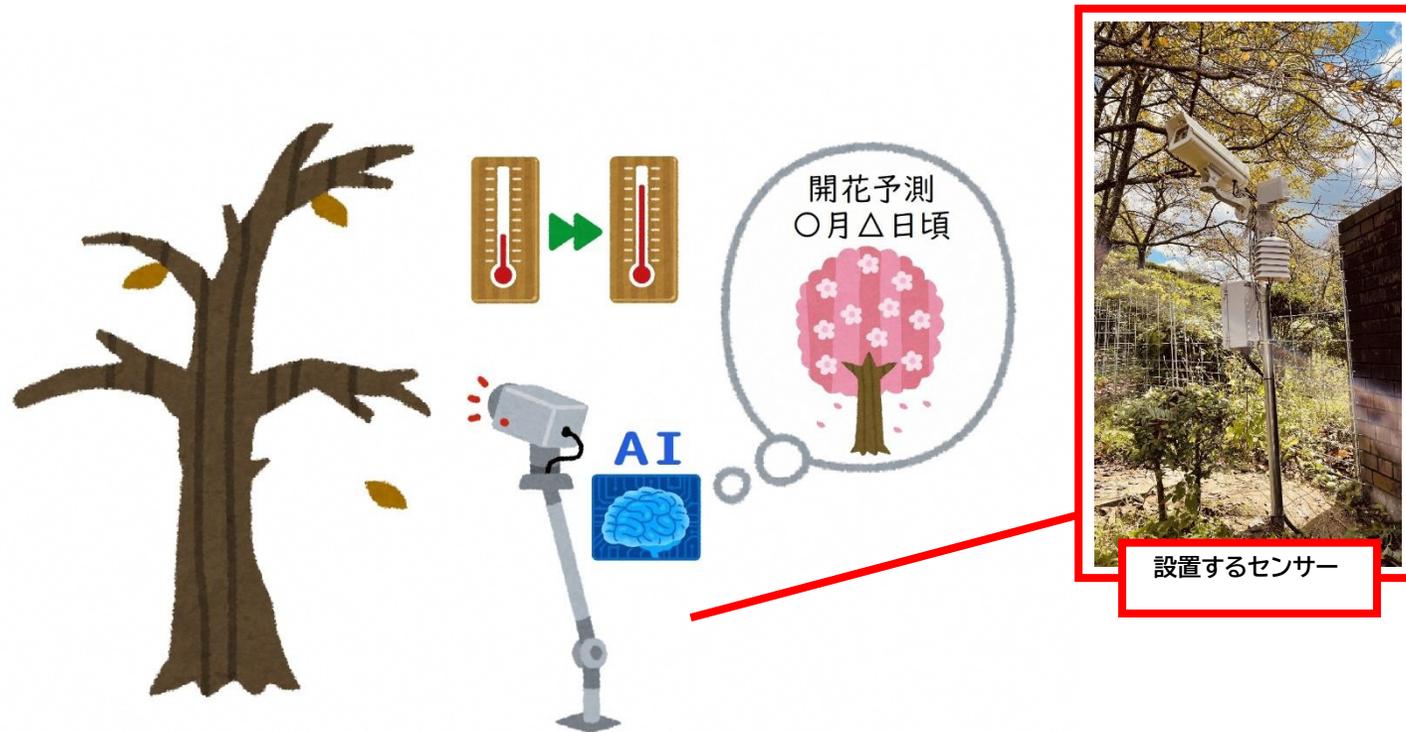


協力者：下田原地区有害鳥獣駆除対策協議会、InnovationFarm(株),飯盛霊園組合
奈良先端科学技術大学院大学

機器設置台数：3台

主な実績：アライグマの捕獲

大阪府四條畷市



IoT・AI技術を活用した桜の開花予測の実証実験
気象センサー、撮影カメラを設置し、気象データ、桜の木々の状態で桜の開花を予測

協力者：YuMake合同会社、飯盛霊園組合

主な実績：3月27日 飯盛霊園の桜 開花予想的中

・ 実証実験時期：令和3年11月～

大阪府四條畷市

9 国に報告しているKPI（重要業績評価指標）

KPI	事業開始前	R3年度(2021) 1年目	R4年度(2022) 2年目	R5年度(2023) 3年目	KPI増加分の累計
新規事業者数及び事業敷地等拡大事業者数	0	0 1	1 (0)	1 (1)	2 (2)
田原地域の社会増減人口	0	0 -62	0 (0)	0 (0)	0 (-62)
田原管内が所管する記事アクセス数	6,009 (R1年度) 7,682 (R2年度)	500 4,071 ※アクセス数11,753	500 (500)	500 (500)	1,500 (5,071)
新たな低速自動車の利用人数	0	60 158	120 (120)	0 (0)	180 (278)
田原支所窓口のキャッシュレス化率	12.8% (R2.10~R3.3)	15% (17.3%)	19%	23%	—

上段 計画
下段 実績（見込数）